

社会民主主義 フォーラム

全国 通信

No. 61

2024年
9月4日

〒102-0083

東京都千代田区麹町1-6-9

DIK麹町ビル704号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

立憲民主党代表選挙について

社会民主主義フォーラムは8月26日に第7回運営委員会、9月2日に第84回幹事会を開催し、9月7日に告示される立憲民主党代表選挙について協議し、その対応について考え方をまとめました。

立憲民主党の代表選挙は9月7日に告示され23日に投開票されます。代表選挙には昨日時点（9月3日）で前代表の枝野幸男衆院議員、元首相の野田佳彦衆院議員が意思表示を行い、泉健太代表はじめ複数の方々の名前も挙がっています。どういう顔ぶれで代表選挙が行われるか分かりませんが、社会民主主義フォーラムとしての代表選挙に向けた考え方を整理しておきます。

社会民主主義フォーラムは、団体の性格からしても、今回の代表選挙でフォーラムに所属する党员の方々に、特定の候補者への投票を依頼することはありません。誰が代表になり、どのような執行部が誕生したとしても、この間私たちが確認してきた党が直面する課題に的確に対応するよう求め、同時に私たち自身が先頭に立って実践していくことが基本的な姿勢です。

私たちは党が直面する課題と努力の方向について以下の通り整理してきました。自己責任ではなく公共を重視した支え合う社会 - 憲法理念が活かされる社会の実現を目指すこと、党员や自治体議員の活動を軸に、地域や職場での様々な運動と連携して党の地方組織を整備・確立すること、当面する総選挙に向けて候補者一本化（調整）の取り組みを進め政権交代のため野党の力を結集する努力を行うことなどです。

こうした課題を自覚し活動を進めるとともに、政治の転換を目指すため私たちは全力をあげます。したがって各地の社会民主主義フォーラムや立憲民主党の県連において、これまでの様々な活動を振り返り、また今後の立憲民主党のあり方について議論を進める中、いずれかの候補者に代表を託そうと確認できれば、その決定に従って投票することに何ら問題はありません。

なお、吉川はじめ代表代行につきましては、立憲民主党への合流の経緯、また同じ党内グループのサンクチュアリの役員としての関係などから、枝野幸男前代表の選対メンバーとして臨むこととなることをご理解いただきたいと思います。

今回の代表選挙を通じて、立憲民主党の基盤が強固になり、引き続き総選挙での政権交代を実現できるよう、私たち社会民主主義フォーラムも議論と活動を強めていきます。

自治体議員夏季研修会開く

全国自治体議員夏季研修会が8月18日～19日にかけて、宮城県・秋保温泉の緑水亭で開催されました。5年ぶりの研修会となりましたが、13県から55人の自治体議員らが参加し、熱心な研修と活動交流が行われました。

研修会の基調講演では「国の自治体に対する指示権～地方自治法改正～」をテーマに弁護士永井幸寿先生から講演を受けました。続いて「仙台防災枠組みから見る能登半島地震の状況、自治体の課題～「誰一人取り残さない」ためのインクルーシブ防災とは～」として東北大学災害科学国際研究所所長の栗山進一先生から講演を頂きました。



指示権について永山先生は「立法事実はなく、改憲によらない緊急事態条項の導入」と批判し、栗山先生は多くの震災の教訓や事例から「今急ぐべきことは建物の耐震化と家具の転倒防止」だと指摘されました。お二人の講演資料は別掲のQRコードからアクセスしてください（内部の学習資料としての活

用に限ります)。

翌19日には仙台市立青葉山公園・緑彩館と震災遺構・仙台市立荒浜小学校の視察を行い、施設や市の担当者からお話を伺いました。緑彩館では仙台市の歴史や産業・観光、街づくりに触れ、荒浜小学校の各教室からは津波の脅威や教訓をあらためて学ぶことができました。

研修会に先立ち行われた議員総会では提案された活動方針など満場一致で採択しました。議員団会費は、県議・政令市議・人口30万人以上の自治体議員は5000円(年額)、人口30万人未満の自治体議員は4000円(同)と決定しました。

役員(四役、敬称なし)は次の通りです。議長／石田寛(秋田県議会議員)、副議長／守永信幸(大分県議会議員)、樋口典子(宮城・仙台市議会議員)、事務局長／羽田圭二(東京・世田谷区議会議員)、事務局次長／浅田保雄(東京・文京区議会議員)。

来年8月の夏季研修会の開催地は宮崎県に決定しました。



永井先生の講演資料



栗山先生の講演資料



秋期のたたかいに向けて(要旨)

8月26日に開催した第7回運営委員会では以下の情勢と課題をふまえ総選挙に全力をあげることを確認しました。その要旨を掲載します。

1) 情勢と課題

①都知事選は自民党の勝利ではない。引き続き自民党政治への批判と不信は明らかであり、総選挙への取り組みを進めていくことが求められる。

②自民党総裁選が9月27日に行われる。「疑似政権交代」で総選挙を有利に進めようと躍起になっているが「政治とカネ」の隠ぺいを許してはならない。

③立憲民主党も9月23日に代表選挙が行われる。



目指す社会のヴィジョン、総選挙のたたかい方などの論戦が求められる。自民党の総裁選挙に埋没しない取り組みや迫力が必要だ。

④改憲に向け岸田首相は「自衛隊の明記」と「緊急事態条項」の二点を盛り込むべきだと強調。総裁選挙で議論を求めており予断は許されない。

⑤防衛省・自衛隊の不祥事で200人以上が処分。大幅な防衛増税が迫る中、臨時国会は「防衛予算総点検国会」として増税撤回を求めていく。

⑥裏金事件は家宅捜査や議員辞職など「第二幕」へ。引き続き証人喚問開催など疑惑迫及、真相解明と「政治とカネ」問題を根絶する法改正を求めていく。

2) 総選挙に向けた課題

①衆議院解散が想定される。「政治とカネ」を争点に政権交代を勝ちとることが課題だ。私たちが先頭に立ってたたかいを担おう。

②政権交代には大きな「かたまり」が必要だ。立憲には野党第一党として、維新から共産まで野党への丁寧な働きかけと指導力が求められる。

③党組織の強化や労組・大衆団体との連携を深めていく。社会民主主義フォーラム所属候補の議席獲得により存在感と影響力を高める。

3) 具体的な取り組みについて

①「総選挙勝利！社会民主主義フォーラム全国会議」を開催する。9月26日(木)18時から19時までZOOM形式で開催。出席者は各県2名を要請。

③社会民主主義フォーラム第3回全国交流会(総選挙総括交流会)を12月14日(土)13時から16時までZOOM形式で開催。各県から3名を。

③全国各地で行われる脱原発集会、憲法行動などへ積極的な参加を呼びかける。労働組合との意見交換会を開催する。